

1. 全体評価

(1)

政策目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
森林整備の推進												
森林の多様な利用・緑化の推進												
花粉発生源対策の推進												
望ましい林業構造の確立												
特用林産物の振興												
木材利用及び木材産業体制の整備推進												
山地防災情報の周知	山地防災情報伝達の総合的な推進	研修会の開催数	0	回	H29	2	回	H30	13	650%	H30	
森林資源の保護	森林環境保全の推進	保安林指定の推進	1,016	百ha	H29 (H27)	1,046	百ha	H30	1,046	100%	H30	「平成30年度保安林又は保安林施設地区に関する事務の報告書について」 (H31.3.31現在)
林業担い手等の育成確保	担い手確保・育成対策	認定事業主数	17	事業体	H29 (H25)	21	事業体	H30	19	90%	H30	県認定事業体数 (H31.3.31現在)
		新規就業者数	33	人	H29 (H25)	50	人	H30	50	100%	H30	認定事業体へのアンケート調査 (H31.3.31現在)
	林業労働災害撲滅プロジェクト	災害発生件数(減少率)	59	件	H29 (H24)	44	件	H30	24	233%	H30	山口労働局資料 (H31.3.31現在)
市町村直接交付モデル整備												

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。

(2) 総合評価

政策目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記述するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記述する。

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

政策目標	本事業により実施した政策目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林整備の推進		
森林の多様な利用・緑化の推進		
花粉発生源対策の推進		
望ましい林業構造の確立		
特用林産物の振興		
木材利用及び木材産業体制の整備推進		
山地防災情報の周知	山地災害危険地区の把握を行うとともに、山地災害に関する講習会等を実施することにより、県民の山地防災に対する意識向上が図られた。	近年の豪雨災害により、集落単位での防災意識の向上や被災時の協力体制が重要とされています。については、さらなる周知を図るため、集落単位の中小規模な講習会で開催回数を増加させていく必要
森林資源の保護	【森林環境保全の推進】 保安林を中心に巡視活動を行うとともに「やまぐち農林水産業成長産業化行動計画」等の目標に基づき保安林の指定を推進した。保安林の指定面積は、目標値を達成した。	【森林環境保全の推進】 森林の公益的機能の維持増進のため、引き続き保安林等の巡視活動に取り組むとともに、機能の発揮が求められる森林について計画的に保安林の指定を推進する。
林業担い手等の育成確保	首都圏を中心とした就業ガイダンス等で新規就業促進を行い目標を達成した。また、林業認定事業体を中心とした労働災害防止講習会等を開催した結果、労働災害発生件数を減少することができた、	更なる林業者の確保のため、就業ガイダンスや就業相談等を実施する。 また、引き続き労働災害防止講習会を開催し、労働環境の改善のため労働災害の防止に努める。
市町村直接交付モデル整備		

(注)

- 1 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 2 本表には、政策目標ごとに評価等を記入すること。